

平成26年度特別会計・企業会計決算額一覧表

会 計 名			歳出決算額	会計名・団体名			歳出決算額
住宅新築資金等貸付事業			260万円	国民健康保険事業			133億3,212万円
国民健康保険直営診療所			1億1,650万円	後期高齢者医療			9億 54万円
介護保険事業			66億9,361万円	農業集落排水事業			6億3,359万円
不動岡土地区画整理事業			1,988万円	三保第二土地区画整理事業			3,127万円
野中土地区画整理事業			3億7,555万円	栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業			8,278万円
河野博士育英事業			624万円	北埼玉地区視聴覚教育協議会			135万円
水道事業	収益的収支	収入	28億 351万円	下水道事業	収益的収支	収入	19億4,101万円
		支出	25億3,529万円			支出	17億7,139万円
	資本的収支	収入	3億1,706万円		資本的収支	収入	13億9,373万円
		支出	11億8,497万円			支出	20億 67万円

※単位未満は、四捨五入です。

※企業会計は、経営活動に伴い発生する収益的収支と、将来の経営活動のために行う借入れや施設建設などの資本的収支に区分されます。

主な議案の一部を紹介します。

一般会計補正予算 (第3号)

- ・道路維持管理事業
(6015万8千円)
 - ・幹線道路新設改良事業
(6556万円)
 - ・生活道路側溝事業
(1857万2千円)
 - ・生活道路新設改良事業
(1814万4千円)
- 安全で快適な道路環境の確保と利便性の向上や道路冠水の解消等を図るため、舗装の打替え、歩道や側溝の整備、道路の拡幅を行うとともに、継続して実施している事業の早期完成を目指すものです。
- ・避難所整備事業
(54万4千円)
- いわゆる災害弱者と呼ばれる障がい者の方などへの配慮及び支援の一層の強化・充実を図るた

め、避難時に周囲の方の手助けを必要としている方とその方を支援する方及び市職員が一目で確認できるように身に着けるビブス(簡易ベスト)や、言葉によるコミュニケーションが難しい障がい者や外国人の方との円滑なコミュニケーションを助けるツールとして、コミュニケーション支援ボードを避難所に配備し、災害時に活用するものです。



- ・幼稚園施設整備事業
(3080万9千円)
- 公立幼稚園における3歳児保育ニーズに対応し、幼児教育の更なる充

実を図るため、平成28年4月から公立幼稚園における3歳児への教育の提供を新たに実施するに当たり、必要な施設の改修を行うとともに、机、いす、教材などの備品を購入するものです。

条 例

◇加須市個人情報保護条例の一部を改正する条例

番号法の施行に伴い、12桁の個人番号をその内容に含む個人情報である「特定個人情報」について、一般の個人情報と区別して個人情報保護条例に位置付けて厳格に保護していくため、特定個人情報等の目的外利用及び提供の制限並びに開示及び訂正等の請求等について必要な事項を定めるものです。



◇加須市手数料条例の一部を改正する条例

番号法の施行及び住民基本台帳の一部改正に伴い、本年10月から開始される個人番号を通知するための通知カード及び平成28年1月から、本人の申請に基づき、交付が始まる個人番号カードの再交付に係る手数料を定めるとともに、個人番号カードの交付開始に伴い、住民基本台帳カードの交付が終了することとなるため、住民基本台帳カードの交付または再交付に係る手数料を廃止するものです。

なお、通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料の施行期日については、市民の皆様への個人番号(マイナンバー制度)に関する重要性への理解、周知期間を考慮し、猶予期間を設けて平成28年4月1日から施行するものです。